



# 厚木ロータリークラブ週報

JAPAN 第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会 報	副 幹 事	幹 事	長 事	栗 原 良 幸	原 島 卓 也	建 部 陽 介	黄 井 茂 男
--------	-------------	--------	--------	------------------	------------------	------------------	------------------

## ロータリーのマジック

2024～2025 国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

例会場 厚木商工会議所 5F 大会議室

例会日 毎週火曜日 12:30～

事務所 厚木市栄町1丁目16番15号 厚木商工会議所内

<http://www.atsugi-rotary.jp> メールアドレス [info@atsugi-rotary.jp](mailto:info@atsugi-rotary.jp) TEL.046-222-5811 FAX.046-222-5821

### 第3116回例会(5月27日)☆司会 和田勝美SAA

点鐘 …栗原良幸会長

斉唱 …我等の生業

#### 会長の時間

黒柳会員のご逝去に続き、森住等会員がご逝去されました。驚きと悲しみに言葉がありません。森住会員は私と同じ日に厚木クラブに入会、黒柳会員の後任として会長を務められました。その時、私は幹事をお引き受けし、共に会務を務めたことが忘れられない思い出となりました。今日の告別式には市川直前会長と黄金井陽介副幹事にクラブを代表し、出席をお願いいたしました。2年半近い闘病の末に、69歳の若さでご逝去された森住等会員に、謹んで哀悼の意を表しますとともにご冥福をお祈りいたします。

#### 委員会報告

◎次年度幹事

次年度理事役員会

#### スマイル

##### 栗原良幸会長・建部卓也幹事

今年度も一月あまりとなりました。最終最後までよろしくお願ひ申し上げます。さて、本日の例会は柳田会員による卓話です。お話、楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。

西嶋洋一君・小林 透君・高橋 宏君・会田義明君  
鈴木茂男君・前田賢一君

先週早寄さんのシーザーサラダを堪能させて頂きました。スペシャルなディナーも特別においしかったです。ありがとうございました。

西嶋洋一君

所用のため早退致します。

#### 今日のお花



アルストロメリア〈白〉(栗原良幸会長)

胡蝶蘭(建部卓也幹事)

カーネーション(和田勝美君)

アルストロメリア〈黄赤〉(小島久美子君)

#### 今日のお祝い 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

\* 事業所開設

山本晃久君(6日)

\* 結婚記念日

早寄慶一郎君

#### 今日の例会 (2025年6月3日)

「大相続時代を考える」

担当：西嶋洋一君

#### 次回の例会 (2025年6月10日)

「なぜ私が私立探偵に」

担当：難波有三君

講師：森嶋洋子様(寒川IRC)





日本の農業を考える-VIII

こめ問題について考える

今、主食のお米は高いのか安いのか？  
自給率100%の米を、そして日本の農業を  
これからどうするのか？

2025・5.27  
柳田純昭

数字で見る稲作

	稲の収穫量 (万ton)	作付け面積 (万ha)	収穫量/10a (kg)	消費量/人 (kg)	総農家数 (万戸)	農家世帯人数 (万人)	新規就農者数 (人)	直接労働時間 10a当たり
1960年	1210.5	313.4	385	114.9	605	3,441		150
1970年	1252.8	283.6	435	95.1	540	2,659		105
1975年	1308.5	271.9	481	88	495	2,320		81
1980年	969.2	235.8	490	78.9	466	2,137	80,100	62
1990年	1046.3	205.5	500	70	383	1,730	15,700	45
2000年	947.2	176.3	532	64.6	312	1,047	77,100	33
2010年	847.8	162.5	522	59.5	253	650	54,570	25
2020年	776.3	146.2	531	50.8	175	348	53,740	21
2022年	726.9	135.5	536	50.9				45,840
75年比	55%	49%	111%	58%	35%	15%		

お米関連法

**食料管理法**：1942(S17)年～1995(H7)年  
米の流通と価格を政府が管理。1995年まで50年以上存続  
戦時中は、政府がコメの価格を統制し、政府がコメを買い上げて、国民に配給していた。  
(実際には1969(S44)年から自主流通米が認められたが、少なくとも1980年代までは政府の管理下にあったと考えてよいだろう)

**食料法**：1995(H7)年 農家が政府では無く、自由に販売できるようになった。(集荷業者)  
1995年時点ではコメの消費者への販売はまだ認可制で、誰でも販売できるという状況ではなかった

**食料法の改正**：2004(H16)年 ようやくコメの流通は完全に自由化され、民間にゆだねられる  
コメが普通の商品と同じように、自由に売り買いがなされるようになったのは、それほど昔のことではない

現在のコメの価格は直接的な政府の関与はなく、民間同士の取引で決定されている。(政府は直接的関与はないものの、生産量目標の提示はしている)

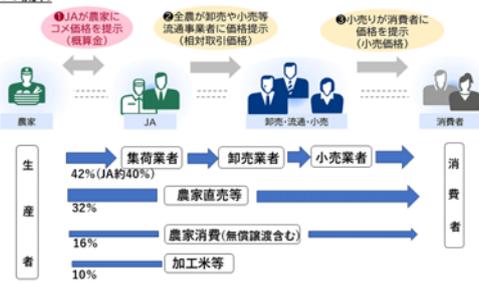
減反政策(生産調整)：1971～2017年

昭和40年代に入り、ようやく主食であるコメの自給が可能となるが、パン食の普及(学校給食などでパン食)などにより、1970(S45)年にはコメの生産量が消費を上回り、コメ余りが生じ、食糧制度のもと買取価格と販売価格の逆ザヤが生じる(財政を圧迫)  
それまでの生産拡大路線を転換(新規の開田禁止、自主流通米制度の導入)  
一定の転作面積の配分を柱とした、本格的な生産調整を開始(転作奨励金)

近年のコメの需給動向



お米の流れ

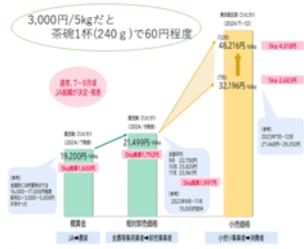


お米の価格

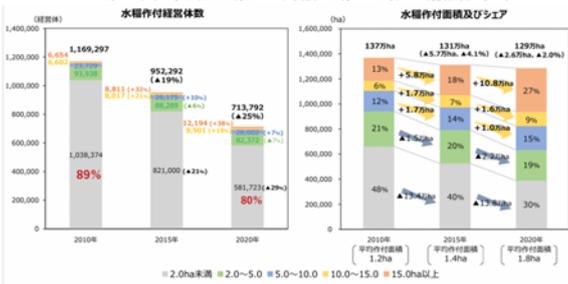
米価は2010年までは一貫して下落、それ以降は、横ばい傾向、近年は13～16,000円前後で推移



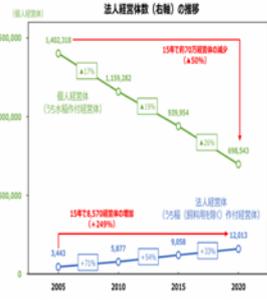
今年の米価の一例：小売価格の異常な上昇



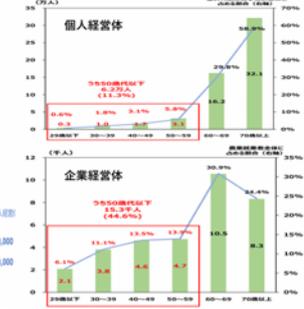
米農家の現状：着実に大規模化が進んでいる  
(2ha以下が、戸数では約80%、面積では約30%を占め小規模経営が多い)



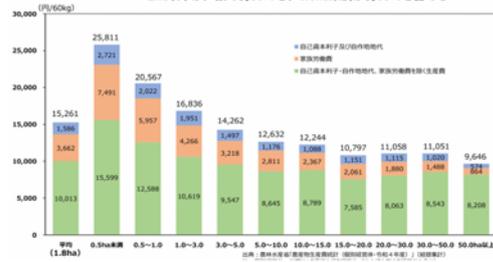
稲作の作付けを行う個人経営体(主軸)と法人経営体(右軸)の推移



稲作が販売金額1位の従事者数



**経営規模別生産原価：規模拡大により原価は低下、15ha以上になると近年の米価でも採算がとれる。**  
2ha以下が戸数で約80%を、0.5ha未満が約38%を占める



**現状対策**

備蓄米を放出・入札から随意契約に変更し価格低下を図るが一時的な対策

**25年度産の見通し：いかに供給を増やし価格を安定させるか？**

稲作作付け面積と収穫量の増加：

面積は、今年度と比べ7.5万haの増加、備蓄米中止・飼料用米の作付けの減少により収穫量(供給量)の増加を図り、主食米は679万tonから719万ton40万ton増へ

概算金の高騰：

各地JAが既に高値を提示、25,000円も？、JAを通さず農家直接買い付けの増加 (JA価格を参考に高値買い付けか？)

**果たして効果は？ 根本解決となるか？**

いま日本の農業は、低下が続く食料自給率、農業従事者の高齢化と減少、耕作面積の減少、自由貿易による価格競争、気候変動化によるリスク等々、挙げたらきりが無いほど多くの問題を抱えています。21世紀は食料が武器にもなると言われます。私たちの「食の安全と確保」をしっかりと考えていく大切な時期に来ていると思います。

**訃報**

厚木ロータリークラブ会員 森住 等様(69歳)が、5月20日ご逝去されました。

喪主 森住 美重子 様 (妻)

謹んで哀悼の意を表するとともに、お知らせいたします。

**出席報告 <会員 33 名、出席対象 29 名>**

5月13日例会	確定出席率 100%	5月27日例会	出席 27 名 欠席 2 名 出席率 93.10%
		<欠席> 宮本勇介君・畑中雄太君	